

# 第11回 全国宅老所・グループホーム 研究交流フォーラム in 佐賀



宅老所の「<sup>プラス</sup>柔軟なケア」で  
介護保険制度の  
限界をこえよう!!

## 地域密着時代の小規模ケアに求められるもの

第11回目の開催となる「全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム」を、今年佐賀県で開催します。介護にも地域密着が求められる時代に、宅老所には何ができるのかを徹底的に議論。

佐賀版共生ケア・ぬくもいホームにも注目!

みなさんのご参加を心からお待ちいたしております。



**2008年2月23日(土)・24日(日)**

場所: 武雄市文化会館 (佐賀県 武雄市)

主催: 「第11回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラムin佐賀」実行委員会

## 主 催 ・ 共 催

【主 催】「第11回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in 佐賀」実行委員会  
宅老所・グループホーム全国ネットワーク  
佐賀県宅老所連絡会

【共 催】特養・老健・医療施設ユニットケア研究会  
地域サテライトケア推進プロジェクト  
小規模多機能ホーム研究会

## は じ め に

「宅老所・グループホーム研究交流フォーラム」は、1998年に第1回目を開催してから、今回で通算11回、10年目という節目を迎えました。この間、宅老所を取り巻く環境は大きく変化してきました。中でも、2000年の介護保険制度の導入、2006年の小規模多機能型居宅介護の制度化と地域密着型サービスの創設は、宅老所の存在そのものに大きな影響を与えました。

制度の枠組みの中だけでは地域で暮らすことの難しい方々の、住み慣れた地域での暮らしを支えるため、宅老所の実践者たちは、ときには監査指導ともぶつかりながら、本人の思いに寄り添うことの必要性を訴え、柔軟なサービスのありようを模索してきました。そうした活動はさまざまなメディアでも取り上げられ、ようやく社会的な認知を受けるようになってきました。

ところが、小規模多機能型居宅介護が制度化されたことをきっかけとして、通所介護プラス自主事業といった活動が、大幅に制限される傾向が全国的に見られるようになってきました。特にコムスンの事件の後、これまで多くの宅老所が介護保険法上指定を受けずに実践していた自主事業について、大幅に制限を受けるようになってきています。

今回のフォーラムでは、テーマを「地域密着時代の小規模ケアに求められるもの」と設定し、宅老所の意義や地域における役割を再確認するとともに、これからの時代に求められる社会的ニーズに応えるための課題が何か、またその課題を乗り越える方法を、実践者を中心に行政・マスコミ関係者にも参加いただき、徹底的に議論します。

## 開 催 日 時 ・ 会 場

### 【開催日時】

2008年2月23日(土) 12:40～24日(日) 15:30

### 【会 場】

武雄市文化会館(佐賀県武雄市)

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄 5538-1 TEL: 0954-23-5165

# プログラム

1日目(2月23日:土)

12:40~13:10 開会 受付開始は11時からです。

13:10~14:10 小規模ケアの原点「宅老所」を語る 必要なときに必要な支援を!

## パネリスト

たすけあい佐賀(佐賀県)	代表	西田京子
宅老ちよだひまわりの会(佐賀県)	代表	古川雅子

## コーディネーター

ジャーナリスト		泉田照雄
---------	--	------

14:25~15:55 ディスカッション1 宅老所が実現してきたもの 宅老所の10年を振り返る

「地域密着」「小規模」「多機能」という言葉の示すとおり、宅老所は介護保険制度の始まる前から地域密着を訴え、実践を重ねてきました。宅老所が今抱える課題を考えるにあたり、まずは、宅老所が「日本の高齢者介護」に与えた影響を俯瞰します。  
宅老所を紐解くキーワードが満載です!

## パネリスト

デイホームあいあい(栃木県)	代表	高木敏江
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会	代表	武田和典
東北福祉大学総合福祉学部	教授	高橋誠一
熊本県健康福祉部	次長	森枝敏郎

## コーディネーター

福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係 国際医療福祉大学大学院	教授	大熊由紀子
---	----	-------

16:10~18:00 ディスカッション2 「<sup>プラス</sup>+柔軟なケア」を守り、育てるために今できること

多くの宅老所ではこれまで、多様で柔軟な支え方を実現するためのツールとして、介護保険事業とは別に自主事業を実施してきました。ところが、小規模多機能型居宅介護の制度化によって、いくつかの自治体では、こうした自主的な取り組みが「不適切な事例」として受け止められている現実があります。  
お年寄りの在宅生活を徹底して支えるための方法と、自由さを保障するための仕組みづくりを徹底的に議論します!!

## パネリスト

託老所あんき(愛媛県)	代表	中矢暁美
宅老所・グループホーム全国ネットワーク	代表世話人	田中正廣
日本福祉大学	教授	平野隆之
厚生労働省老健局計画課	課長補佐	田仲教泰

## コーディネーター

福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係 国際医療福祉大学大学院	教授	大熊由紀子
---	----	-------

19:00~21:00 懇親会(武雄センチュリーホテル)

2日目(2月24日:日)

9:30~11:30 分科会 (6つの分科会の中から、1つを選択してください)

分科会1 チームで考えるケアマネジメント [定員30人]

ファシリテーター

蒲生の家(大阪府)

代表

瀬川 雅和

市民生活支援センターふくしの家(佐賀県)

代表

江口 陽介

東北福祉大学総合福祉学部

教授

高橋 誠一

分科会2 介護現場における人材確保と職員の育成

パネリスト

特定非営利活動法人コレクティブ(熊本県)

理事長

川原 秀夫

宅老所いは(鹿児島県)

代表

中迎 聡子

コーディネーター

ジャーナリスト

泉田 照雄

分科会3 本人の思いを叶えるために 家族との関わりから考える

パネリスト

天神オアシスクラブ(福岡県)

施設長

中島 七海

認知症の人と家族の会佐賀県支部

会長

森 久美子

コーディネーター

西九州大学健康福祉学部

准教授

江口 賀子

分科会4 在宅生活を支えるために 医療との連携を考える

パネリスト

お世話宅配便(佐賀県)

代表取締役

吉井 栄子

秋櫻醫院(長崎県)

院長

石田 一美

コーディネーター

日本経済新聞社東京本社

編集委員

浅川 澄一

分科会5 宅老所と行政との地域での連携

シンポジスト

余暇センターきたじま(佐賀県)

施設長

北島 富子

鹿島市高津原(佐賀県)

区長

中尾 誠士郎

福岡県大牟田市保健福祉部

参事

池田 武俊

コーディネーター

九州大学大学院

准教授

安立 清史

分科会6 施設ケアで活かす宅老所的視点 地域での暮らしを地域とともに

パネリスト

総合福祉施設いずみの園（大分県）  
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

施設長 富永健司  
代表 武田和典

コーディネーター

広島文教女子大学人間福祉学科

教授 蛭江紀雄

11:30～12:30 昼食休憩

12:30～13:30 対談 お年寄りも家族も介護職員も、みんなが幸せになるために

高齢社会をよくする女性の会  
宅老所・グループホーム全国ネットワーク

代表 樋口恵子  
代表世話人 惣万佳代子

13:45～15:15 まとめのディスカッション 「佐賀発！ 地域共生ケアの可能性を探る」

誰もが地域で暮らし続けることを支援する。そんな取り組みの一つとして、今、地域共生ケアが注目を集めています。佐賀県では「ぬくもいホーム」が県単事業として整備され、地域の福祉拠点としての役割を担っています。宅老所のこれからを考えるうえで、重要なキーワードである「地域共生ケア」の可能性を探ります。

パネリスト

佐賀県宅老所連絡会  
街かどケアしがネット  
佐賀県健康福祉本部  
厚生労働省九州厚生局

代表 西田京子  
代表世話人 溝口弘  
部長 佐藤敏行  
局長 青柳親房

コーディネーター

西九州大学健康福祉学部

教授 倉田康路

15:15～15:30 閉会

定 員 700 人

参 加 費 12,000 円 (当日資料代含む)

参考資料代 3,000 円

宅老所・グループホーム全国ネットワーク会員：1,000 円 / 1 会員 1 人のみ

#### 申込に関するお問い合わせ

トップツアー株式会社 仙台支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 1-6-18 日石仙台ビル 3 階

電話：022-263-3232 FAX：022-265-5765

営業時間：平日 9：20～18：00 土曜日 9：20～12：40 日・祝日は休み

#### 内容に関するお問い合わせ

「第 11 回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラム in 佐賀」実行委員会

担当：國 分

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207 CLC 内

電話：022-719-9248 FAX：022-719-9251

#### 会場のご案内

JR 武雄温泉駅から徒歩 10 分。

飛行機でおいでの場合は、福岡空港、博多駅経由で特急列車が便利です。(特急利用で約 1 時間)

